

論文再投稿に際してのお願い

令和2年12月
学会誌編集委員会

JSiSE 学会誌への論文投稿をご検討くださりありがとうございます。

学会誌編集委員会では、会員のみなさまより投稿された論文をその内容に基づいて適切な方に査読を依頼し、査読結果に基づいて議論を重ね、投稿者にお返りする作業を日々行っております。JSiSE では、査読は2回以内となっており、結果的に「返戻」と判定される場合もありますが、その場合も、採録となるための参考意見を極力お示しして、再投稿を勧めるなど、著者の主張点に沿って論文の価値を高めるための審査方針を採っています。

つきましては、再投稿された論文の主旨を適切に踏まえ、円滑な査読を進めるために、以下の方法で運用することにいたしましたので、会員のみなさまにご理解いただきたくお願い申し上げます。

- (1) 投稿者におかれましては、一度「返戻」と判定された論文を再投稿される際には、「返戻」と判定された際の査読意見を吟味していただき、論文を修正していただいた上で、投稿していただくようお願いします。この場合、学会誌編集委員会は、修正内容を確認し、速やかに査読プロセスに入ることが可能となります。

※なお、返戻後、論文の主題を絞り込んだり、新たな内容を含めるなどして新規投稿される場合もあろうかと思えます。そのような場合、適宜、新たな内容を含めた等の事情説明をカバーレターに記載していただくようお願いいたします。過去の査読意見に沿った回答文を提出していただく形でも結構です。

- (2) (1)による修正が明らかでない場合、学会誌編集委員会は、新規投稿された論文について、同一著者による過去の投稿論文と比較し、類似していた場合には、過去の投稿論文との関係を投稿者にお尋ねする場合があります。